

三菱レイヨン株式会社 社長 越智 仁 2016年 年頭挨拶 (要旨)

三菱レイヨン株式会社

日本経済は、安倍内閣による「三本の矢」、「新三本の矢」と経済活性化に向けた対策が取られ、漸く少し明るくなってきたように感じています。世界の経済環境については、米国は堅調な国内景気及び雇用情勢を背景に金利の引き上げに踏み切りました。欧州についても緩やかな回復基調が続いています。一方中国では「新常态(ニューノーマル)」移行に象徴される成長スピードの鈍化がいよいよ鮮明になっています。

さて、4月には三菱ケミカルホールディングスの新中期経営計画「APTSIS20」が始まります。APTSIS 20における三菱レイヨンとしての基本方針は、

1. KAITEKIの実現・グローバル化
2. ポートフォリオマネジメントの徹底
3. グローバル経営の強化
4. 「ものづくり」力の強化
5. 人を活かす経営一真のダイバーシティを推進

の5つで、従来の方針を引き継いでおります。

この中でも2点お願いしたいことがあります。

第一にコンプライアンス違反の撲滅と安定・安全生産です。事故や重大なコンプライアンス違反は、企業の存続そのものを揺るがしかねない重大な問題となりえます。我々一人ひとりが常日頃の行動において、疑問を抱き自らの頭で考え、一つひとつ改善していく他に方法はありません。身近な問題から着実に改善していきましょう。

第二に、従業員の健康度向上です。「働き甲斐のある、生き甲斐のある職場を作り上げ、ワークライフバランスもとれた状況を作り上げる」ことが重要です。経営者がトップダウンで進める戦略的構想、管理者が進める職場の快適化、従業員全員が進める自らの健康と体力づくりを「健康経営」といいます。2016年4月には、三菱レイヨンとして健康経営を推進することを宣言したいと考えています。

今年の干支は「丙申(ひのえさる)」であります。「丙」は形が明らかになってくることを示し、「申」は果実が熟成して固まってくる状態を示すといえます。従って「丙申」の年は、これまで日の目を見なかったものが形となって立ち現われてくる年であるといわれています。

2016年は、三菱化学・三菱樹脂・三菱レイヨンの化学3社の統合に向けた準備を筆頭に、三菱レイヨンとして大きな変革を迎える年です。新たな施策に挑戦し、さらなる成長の加速と変革の第一歩の年であると言えるのではないのでしょうか。

皆さんが、今年一年素晴らしい成果を生むとともに、健康でますます発展されることを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。